

前立腺癌に対する重粒子線治療の概要

プロトコール番号:1801

治療プロトコール	限局性前立腺癌に対する重粒子線治療 1801
対象	低リスク、中リスク、高リスク前立腺癌(NCCNのガイドラインに基づく)
治療方法	<ul style="list-style-type: none"> ・重粒子線治療 総線量 51.6Gy (RBE)/12回/3週間 ・リスク分類 <u>低リスク</u> 炭素イオン線治療単独 <u>中リスク</u> ネオアジュバントホルモン治療併用 <u>高リスク</u> ネオアジュバントホルモン治療+アジュバントホルモン治療併用 <p>*中リスク群、高リスク群に対して行われるホルモン治療の投与期間はリスクグループに依存する</p>
適格条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. T1c-T4(膀胱頸部浸潤)N0M0の原発性前立腺癌 2. 生検により病理学的に診断された前立腺癌 ただし導管癌は手術拒否例や手術不能例を対象とする 3. Performance Status(ECOG) 0-3 4. 患者本人からの文書による同意が得られている 5. 当センターのキャンサーボードで適応が確定された症例
不適格条件	<ol style="list-style-type: none"> 1. 照射部位に放射線治療の既往がある 2. 他臓器に活動性の重複癌を有する ただし根治治療により治癒と判断された場合、もしくは、治癒が見込める場合を除く(もう一方の悪性腫瘍の治療先行を推奨) 3. 照射領域に難治性の感染または炎症性疾患を有する 4. 医学的、心理学的または他の要因で不適格と判断された場合
治療の種類	保険診療